

# 実践！ワークショップ・PHPでWebサービスAPI勉強会 ＜基本編＞

2009/04/19

ムジログ wackey

<http://musilog.net/>



# 目次

- 事前準備(当日までをお願いします)
  - 事前に準備していただきたいこと
  - やっておくと便利なテキストエディタ設定(EmEditorの場合)
  - FTPの設定
  - 予習課題・演習課題のアップロード方法
  - アプリケーションIDの取得
  - 予習課題①:【必須】アプリケーションIDをPHPファイルに書き込む
  - 予習課題②:【必須】取得したIDで早速動かしてみよう!
  - 予習課題③: 次のページから1時間目分をやっておく(任意)
  - サンプルソースの設置  
(当日最新版をUSBメモリにて渡します)
  - XAMPP起動&動作確認
  - テキストの見方
  - 本テキストご利用上の注意
  - この勉強会の概要説明
- 1時間目 PHPタグの基礎的な書き方を覚える
  - imgタグをphpに置き換えてみよう!
  - PHPタグ内に改行を入れて文字を表示してみよう!
  - 最初のまとめ: PHPの書き方のルール・大原則
  - PHP内から出力させるものは実はHTML!
  - 変数とは?
  - 変数でこんなことも出来ます(文字列の結合)
  - 予習用ワーク!(できれば4/12までに・・・)
  - 設定や共通処理の外部ファイル化
  - 「'''」と「'''」の違い
  - フォーム(GET)でデータ受け渡し
  - 1時間目のまとめ
- 2時間目 YAHOO!ショッピング商品検索を例に作ってみよう!
  - Webサービスの使い方概要
  - つまり、リクエストをURLに翻訳する!ところがポイント
  - リクエストURLの組み立て方(YAHOO!ショッピング商品検索の例)
  - URLエンコードツール説明
  - 実際にブラウザ上でリクエストしてみよう
  - 解読しよう!XMLファイルの見方
  - XMLファイルの見方解説①Result階層
  - XMLファイルの見方解説②Hit階層(商品個別情報)
  - APIを使うPHPプログラム作成手順の説明
  - ①②③PHPでリクエストURLを組み立てるには?
  - ①②③アフィリエイトリンクURLを組みこむには?
  - ④PHPでXMLを個々の情報に翻訳して取り出すには?
  - PHPで出力する部分を単純化する(HTMLタグのように扱う)
  - YAHOO!ショッピングでPHPタグ化したものの例
  - ④HTMLで画像表示など見やすく整形してみよう!
  - APIを使うPHPプログラムを作る流れ、手順の確認
- 3時間目～4時間目
  - 課題演習は3コースの中から選択&フリーQ&A  
下記から選択してオリジナルなものを作ってみる
    - 課題A: 売上ランキングプログラム
    - 課題B: 居酒屋or美容室検索サイト
    - 課題C: 旅行系サイト全体像
  - 出来上がったものを発表
  - Websアプリケーションを作り続けていくコツ
  - 応用編の案内・告知

## 3時間目～4時間目は実際に課題演習&フリーQ&A+発表・解説の予定

# 事前に準備していただきたいこと

---

- XAMPPのインストール(既にメールにて案内済)  
▽XAMPPインストール手順書メモ - [mu]ムジログ  
[http://musilog.net/pc-soft/software/xampp\\_install\\_memo.php](http://musilog.net/pc-soft/software/xampp_install_memo.php)
- 改行コード、文字コードUTF-8で保存できるテキストエディタのインストール、設定(秀丸とかでも可)  
※個人的なお勧めテキストエディタ: EmEditorフリー版  
<http://www.vector.co.jp/soft/winnt/writing/se047993.html>
- 予習課題と当日の演習課題のアップロードに使うFTPソフトの準備(FTPの設定)
- 各種アプリケーションIDの取得  
添付のPHPファイルに書き込んでおいてください  
(P.7予習課題参照)



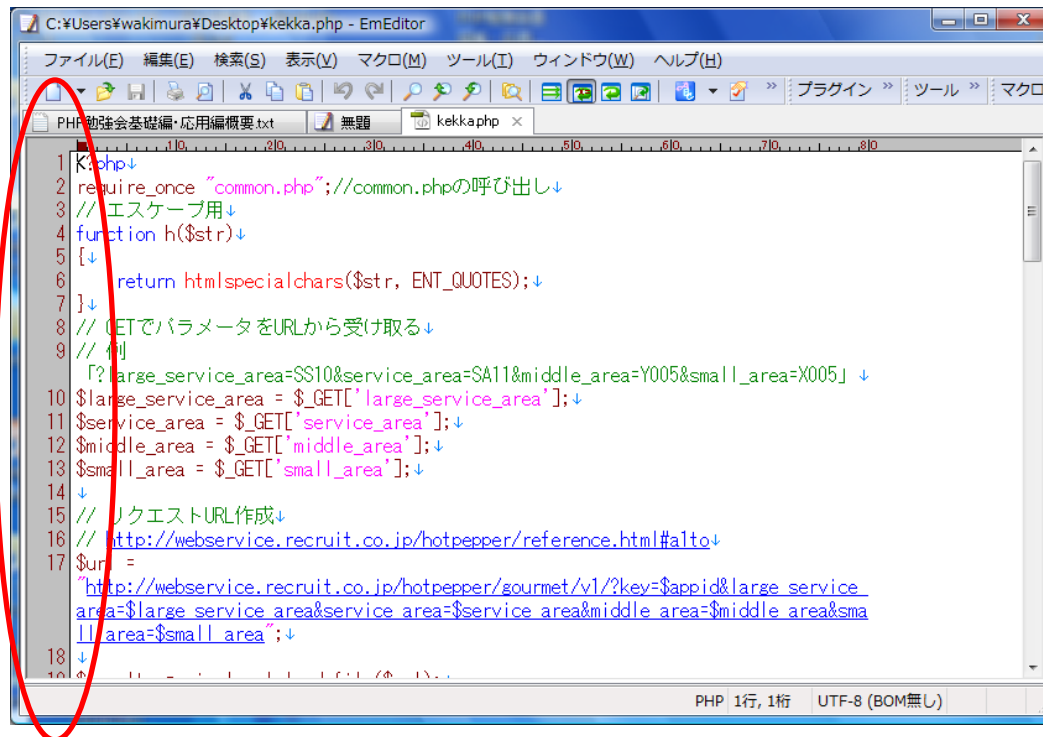
# やっておくと便利なテキストエディタ設定(EmEditorの場合)

◎行番号とルーラが表示されるように設定する

ツール→すべての設定のプロパティ→基本の

「行番号を表示」「ルーラを表示」にチェックを入れておく

※行番号を表示すると「何行目のなになにが」という話がしやすくなります。



```
1 K:php↓
2 require_once "common.php"; //common.phpの呼び出し↓
3 //エスケープ用↓
4 function h($str)↓
5 {↓
6     return htmlspecialchars($str, ENT_QUOTES);↓
7 }↓
8 // GETでパラメータをURLから受け取る↓
9 // 例
10 "?large_service_area=SS10&service_area=SA11&middle_area=Y005&small_area=X005" ↓
11 $large_service_area = $_GET['large_service_area'];↓
12 $service_area = $_GET['service_area'];↓
13 $middle_area = $_GET['middle_area'];↓
14 $small_area = $_GET['small_area'];↓
15 ↓
16 // リクエストURL作成↓
17 // http://webservice.recruit.co.jp/hotpepper/reference.html#alto↓
18 $url =
19     "http://webservice.recruit.co.jp/hotpepper/gourmet/v1/?key=$appid&large_service_
20     area=$large_service_area&service_area=$service_area&middle_area=$middle_area&sma
21     ll_area=$small_area";↓
```

※個人的なお勧めテキストエディタ: EmEditorフリー版

<http://www.vector.co.jp/soft/winnt/writing/se047993.html>

# FTPの設定

- FFFTPの場合

- ホストの設定名 : 適当に名前つけてください

- ホスト名 (アドレス) : s97.coreserver.jp

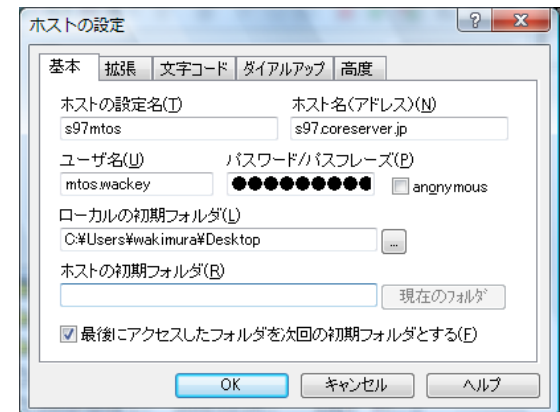
- ユーザー名 : mtos.希望アカウント名 ※原則として

- パスワード : 希望アカウント名 + 「1」 ※原則として

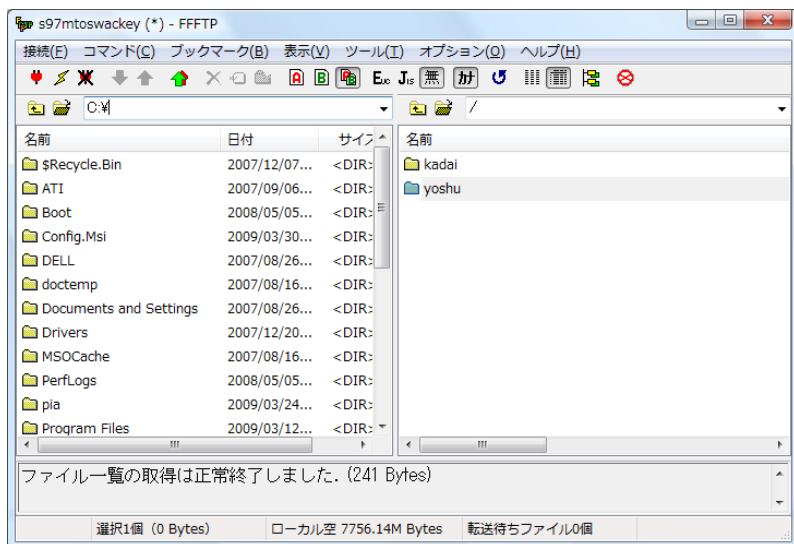
- 表示用URLは

<http://アカウント名.musilog.net/yoshu/>

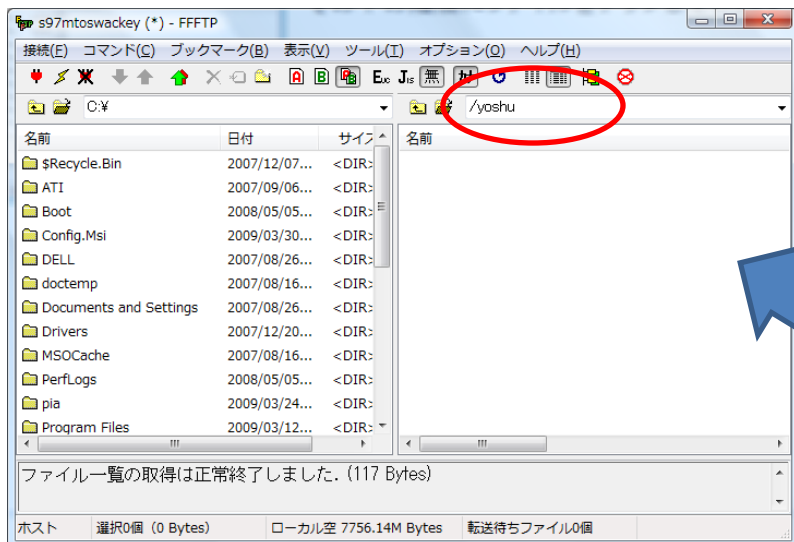
<http://アカウント名.musilog.net/kadai/>



# 予習課題・演習課題のアップロード方法



FTPでアクセスすると「kadai」「yoshu」というフォルダがあるので、その下の階層にファイルをアップしてください。



予習課題なら「yoshu」ディレクトリ(フォルダ)の下にアップロードしてください。

※ドラッグアンドドロップでアップロードできます

PHP  
ファイル

# アプリケーションIDの取得

- 今回の勉強会ではヤフーショッピングを中心に解説します。もし演習課題や次回の応用編、今後のサイト制作でチャレンジしたいものがあれば、他のWebサービスのIDを取得してご準備ください。(添付のPHPファイルに書き込んで置いてください⇒次ページで解説)
  - 【必須】ヤフーデベロッパーネットワーク(ID取得によりヤフーのすべてのWebサービスを利用することができます)  
<http://developer.yahoo.co.jp/>
  - 【必須】バリューコマース  
<https://www.valuecommerce.ne.jp/index.cfm>  
オファーリスト→「ヤフー」で検索→「Yahoo!ショッピング(ヤフー ショッピング)」  
「PDB\_Yahoo\_shoppingウェブサービス用のプロモーションです。」のほうで提携申請
  - 【必須】楽天ウェブサービス(楽天市場・楽天トラベル等)  
<http://webservice.rakuten.co.jp/>  
デベロッパーIDとアフィリエイトIDの2点をご確認ください。  
楽天市場のIDを持っていたらすぐ使えます。
  - リクルートWEBサービス(ホットペッパー、カーセンサー、赤すぐnet等)  
<http://webservice.recruit.co.jp/>
  - (今回は触れませんが、じやらんも一応... (応用編でやります)  
~~<http://jws.jalan.net/ws/viw/U00001>~~
  - リンクシェアクロスオーバーサーチ(対応サイトに提携をする)(応用編でやります)  
<http://www.linkshare.ne.jp/service/crossover/>
  - AmazonWebサービス(リンク先は英語)(応用編でやります)  
<http://www.amazon.co.jp/gp/feature.html?ie=UTF8&docId=451209>

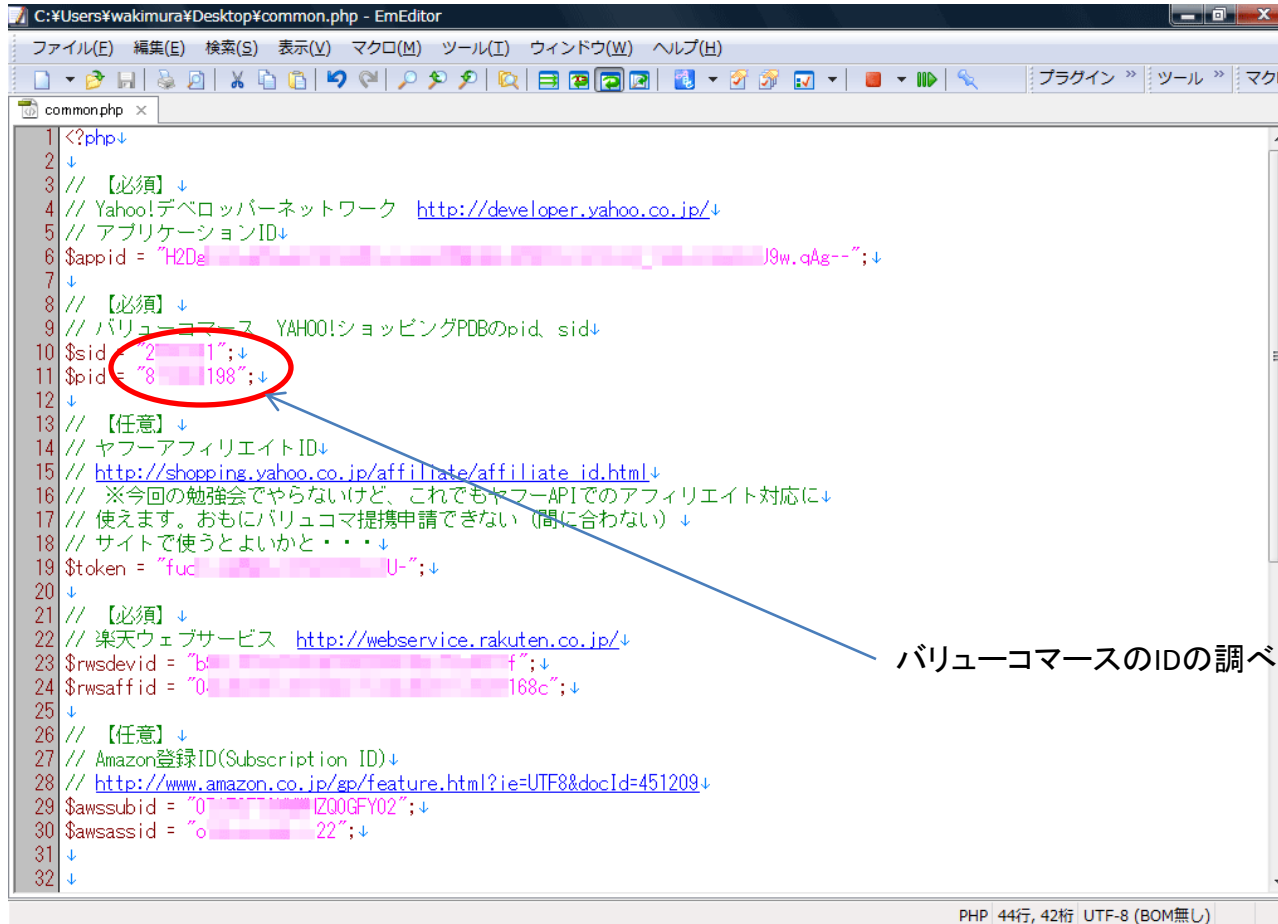
**勉強会に使うIDはご自身がすでにおもちのサイトで登録したもので大丈夫です！**



# 予習課題①:【必須】アプリケーションIDをPHPファイルに書き込む

メール添付でcommon.phpというファイルをお送りします。

各IDを取得し、下記のように書き込んでください(Windowsのメモ帳は禁止です！かならずテキストエディタで編集してください)。



```
1 <?php↓
2 ↓
3 // 【必須】 ↓
4 // Yahoo!デベロッパーネットワーク http://developer.yahoo.co.jp/ ↓
5 // アプリケーションID ↓
6 $appid = "H2De[redacted]J9w.qAg--"; ↓
7 ↓
8 // 【必須】 ↓
9 // バリューコマース YAHOO!ショッピングPDBのpid, sid ↓
10 $sid = "2[redacted]1"; ↓
11 $pid = "8[redacted]198"; ↓
12 ↓
13 // 【任意】 ↓
14 // ヤフーアフィリエイトID ↓
15 // http://shopping.yahoo.co.jp/affiliate/affiliate\_id.html ↓
16 // ※今回の勉強会でやらないけど、これでもヤフーAPIでのアフィリエイト対応に ↓
17 // 使えます。おもにバリュコマ提携申請できない(間に合わない) ↓
18 // サイトで使うとよいかと・・・ ↓
19 $token = "fuc[redacted]U-"; ↓
20 ↓
21 // 【必須】 ↓
22 // 楽天ウェブサービス http://webservice.rakuten.co.jp/ ↓
23 $rwsdevid = "b[redacted]f"; ↓
24 $rwsaffid = "0[redacted]168c"; ↓
25 ↓
26 // 【任意】 ↓
27 // Amazon登録ID(Subscription ID) ↓
28 // http://www.amazon.co.jp/sp/feature.html?ie=UTF8&docId=451209 ↓
29 $awsbid = "0[redacted]ZQ0GFY02"; ↓
30 $awsassid = "o[redacted]22"; ↓
31 ↓
32 ↓
```

バリューコマースのIDの調べ方は次のページで解説します。



# 参考: バリューコマースヤフーショッピングのアフィリエイトIDの確認

バリューコマースのアフィリエイトIDに必要な情報はsidとpidの二つの数字。

- ① オファーリスト→「ヤフー」で検索→「Yahoo!ショッピング(ヤフー ショッピング)」  
「PDB\_Yahoo\_shoppingウェブサービス用のプロモーションです。」のほうで提携申請
- ② PDB\_Yahoo\_shoppingのほうの詳細をクリックして「商品DB/ウェブサービス (1)」をクリック
- ③ 新しいHTMLコードを作成するを押してHTMLコードを表示させます。
- ④ その中のsid=・・・、pid=・・・と続いているそれぞれの数字をメモします。
- ⑤ その数字をcommon.phpに書き込みます。

(今回は勉強会なので、どのサイトのものをお使いいただいても構いません。ただし実際に使用する場合はそのサイトごとに提携し、新しくコードを取得して、それを使ってください。そのサイトのアフィリエイト成果としてあがります)



この広告の広告スペース数: 2

新しいHTMLコードを作成する

広告スペース名: PDB\_20090406\_878026647 [編集] NEW 削除

[HTMLコードを非表示](#)

```
<a href="http://ck.jp.ap.valuecommerce.com/servlet/referral?sid=2506391&pid=878026647" target="_blank" >自由テキスト</a>
```

[このHTMLコードを選択]

# 予習課題②:【必須】取得したIDで早速動かしてみよう!

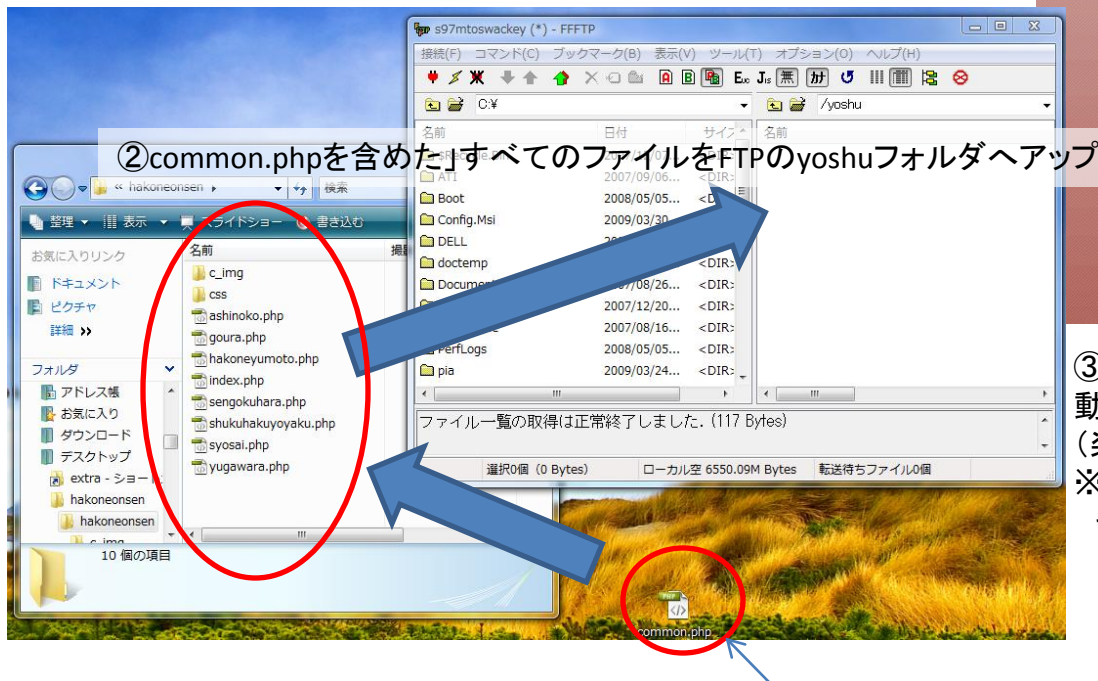
「何度も行きたい箱根温泉」のソースをまるごと渡します。

ただし、ひとつだけ足りないファイルがあります。

それは先ほど作成したcommon.phpというファイルです。

これはご自身の各APIのアプリケーションIDやアフィリエイトIDをしるしたものや共通で使う処理を入れたものです。

このサイトはそれを読み込んで、楽天トラベルのAPIにアクセスして情報を取得しています。



③<http://username.musilog.net/yoshu/>にアクセスして動作確認する  
(楽天トラベルAPIでどんな情報が使えそうか見ておく)  
※このサンプルソースはフリーです。  
そのままお使いいただいても改造しても結構です。

①先ほど編集したcommon.phpを解凍したhakoneonsenフォルダの中に入れる

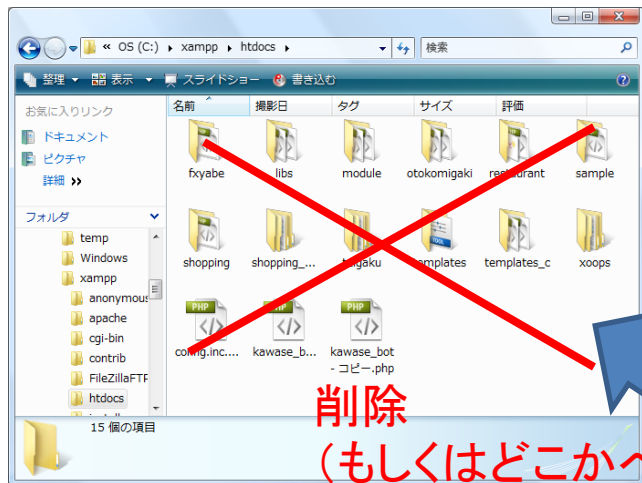
## 予習課題③: 次のページから1時間目分をやっておく(任意)

PHPだけでなくJavascriptも含めてのプログラム初心者や自信が無い方はやっておくことを強く推奨

- PHPを書き慣れている方、前回の勉強会に参加されている方は結構です。
- この勉強会ではHTMLタグを「PHPタグ(文)」に置き換えるというアプローチで少しずつ覚えてもらう形になっていることになっています。  
すでにPHPを理解している方はさらっと読んでご理解ください(2時間目以降の考え方につながります)。
- PHPのプログラマーにとって「PHPタグ」という言い方や考え方はあまり賢くありませんが、わかりやすさを優先したためそういう表現をしております。



# サンプルソースの設置

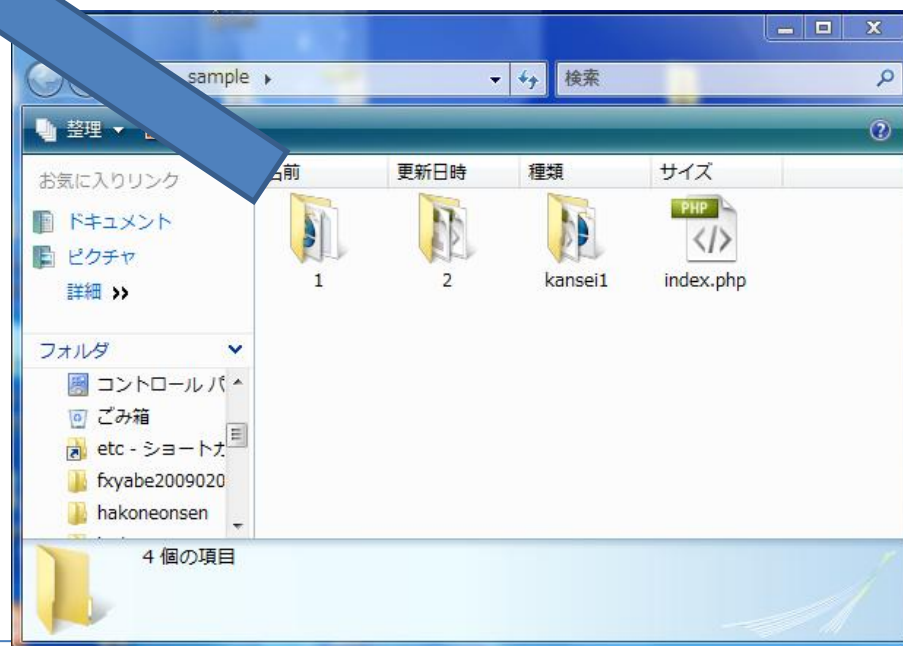


削除  
(もしくはどこかへ  
バックアップ)

フォルダ「1」の下は作業フォルダ、  
フォルダ「kansei1」以下は解答例  
ファイルになっています。  
※答えは一つだけでないのであくま  
でも「例」です

XAMPPインストール直後の下記ディレクトリの  
ファイルはややこしいのですべて削除する(もしくはバックアップ)。  
C:\xampp\htdocs (=http://localhost/)  
※このフォルダに入れたデータがブラウザでは<http://localhost/>以下のア  
ドレスでアクセスすると、PHPとして実行された結果がブラウザ上に表示  
されます

サンプルソースは下記のようにになっているので  
それをドラッグアンドドロップでそのまま設置する



# XAMPP起動 & 動作確認



スタート→プログラム→Apache Friends  
→XAMPP→XAMPP Control Panel  
で、左のコントロールパネルが立ち上がり  
Apacheの列の「開始」ボタンを押して  
「起動」と表示されるのを確認する。  
(「開始」すると「停止」ボタンが表示されます)

## WebサービスAPI勉強会サンプル目次

ここはサンプルファイルの目次です。  
この赤い文字が表示されていたらPHPが動いています

### 1時間目

作業ファイル

[p.17~23の作業ファイル](#)

p.24外部ファイルを読みこむ [ファイル1](#) [ファイル2](#) [ファイル3](#)

[p.25フォーム\(GET\)でデータ受け渡し](#)

※確認するとき上記リンクがショートカットになります

解答例

<http://localhost/>とブラウザに入らし  
左記のように赤い文字が表示されているか  
確認する。

XAMPPを終了するときは「停止」ボタンを押して終了します。  
PCを再起動したときなどは上記と同じように「起動」から始めてく  
ださい。

# テキストの見方

ページタイトルです

そのページの難易度です

PHP内に改行を入れて文字を表示してみよう！ 難易度: ★☆☆☆☆

```
26 <div class="note"><strong>確認したブラウザ</strong>: Windows2000/IE5 IE6 NN71 OF
27 <div class="note"><strong>確認したブラウザ</strong>: Windows2000/IE5 IE6 NN71 OF
28 <div class="note"><strong>確認したブラウザ</strong>: Windows2000/IE5 IE6 NN71 OF
29 <div class="note"><strong>確認したブラウザ</strong>: Windows2000/IE5 IE6 NN71 OF
30 <div class="note"><strong>確認したブラウザ</strong>: Windows2000/IE5 IE6 NN71 OF
31 <div class="note"><strong>確認したブラウザ</strong>: Windows2000/IE5 IE6 NN71 OF
32 <div class="note"><strong>確認したブラウザ</strong>: Windows2000/IE5 IE6 NN71 OF
```

文法

print "HTMLとして出力される文字列";  
echo 'HTMLとして出力される文字列';  
HTMLを出力するのはどちらでもOK!  
※違いがあります。後で説明します。

説明用エリア  
文法や表示例、記法などを記述しています。

半角スペースやタブは適当に入っていてOK!  
文字列を囲うための記号は2種類ある。

そのページのポイントです  
そのページワーク制限時間です

ワーク <?php と ?>の間に改行を入れて文字を表示させる 制限時間1分30秒

例題: 好きな文章をprint、echoと""、' 'の組み合わせ4パターンで書いてみよう

Check!

作業フォルダ: C:\xampp\htdocs\sample\1  
確認URL: <http://localhost/1/template.php>

ワーク課題エリアです

気をつけるべきポイントを書いています。

作業フォルダと表示確認用のURLです。

1ページの説明は、だいたい1分。それほど説明することはありません。  
またワークの内容も考える必要があまり無く、すぐ終わられるものばかりですので  
ご安心ください。

# 本テキストご利用上の注意

本テキストおよび勉強会は最短時間、最短距離、最低限の知識でPHPを学び、APIを利用するためのものです。そのためPHPの文法等で理解を促進するために、一部説明を省略しているものや言い回しを変えています。

- ①通常のPHPの学習として不適切な表現が混ざっている可能性があります。
- ②通常のPHPの学習として説明を省略している部分があります。
- ③理解、解釈を素早くしていただくために強引な説明をしている部分があります。
- ④間違い、不明な点など随時フィードバックを元に更新します。常にβ版です。
- ⑤勉強会前日までには最新版を提供します。

以上の理由のため、再配布は禁止です。

逆に不明な点やつまづいた点があれば、遠慮なくご連絡ください。

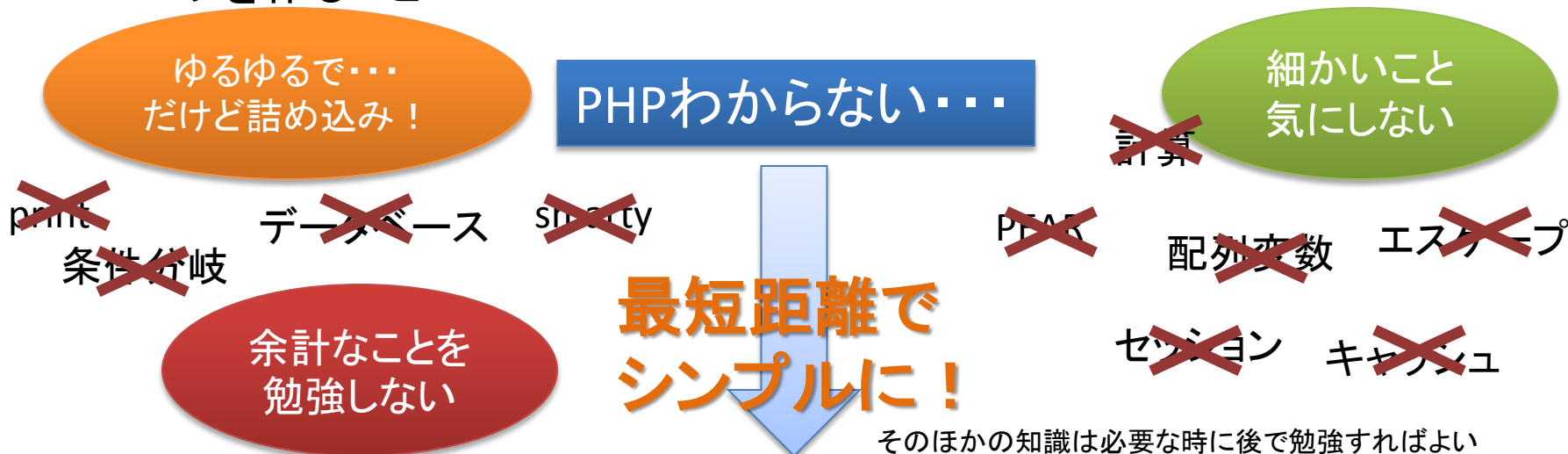
特にHTMLのimgタグやbrタグと同じように「PHPタグ」という言い方をして今回は進めます。

PHPタグを普通のHTMLのimgタグやbrタグと同じように挿入していく考え方が2時間目以降大変役に立ちます。



# この勉強会の概要説明

- ✓ API (Webサービス) を利用するにあたっての必要最低限のPHP知識のみ習得する。
- ✓ 目標はWebサービスを利用して、YAHOO! やリクルート、楽天などが持っているコンテンツ(データベース)を利用した簡単なミニサイト or ブログパーツを作ること



PHPを使ってWebサービスを使ったコンテンツが作れた!!



# 1時間目 PHPタグの基礎的な書き方を覚える

---

- 1時間目の概要

- PHPを使うためにはHTMLファイルではなくPHPファイルであることが必要です。しかし中身は基本的にHTMLのままでOKです。そのHTMLの中に「PHPタグ」を埋め込みます。
- 普通のHTMLファイルの拡張子のhtmlをphpと書き換えるだけでPHPファイルになります。
- 1時間目はPHPタグの書き方やHTMLには無い独自の機能をほんの少しだけ触れます。

- 1時間目の注意事項

- PHPはサーバー上で実行されるので、WindowsPCでダブルクリックしても実行されません。かならずローカル内でもhttp://で始まるURLでアクセスして動作を確認してください。
- PHPのタグはブラウザには出力されません(ソースとしても)。PHPで実行された結果が通常の「HTML」として出力されることがほとんどです。



# imgタグをPHPタグに置き換えてみよう！

難易度: ★★★★★

```
11 本日は晴天なり。<br />↓
12 <br />↓
13 といった感じです。↓
14 /ル... ↓
```



置き換えるだけ！

```
11 本日は晴天なり。<br />↓
12 <?php echo 'でも涼しくてさわやかです'; ?><br />↓
13 といった感じです。↓
```

## 文法

PHPタグは必ず

「<?php」で始まり「?>」で終わる。

そこが普通のHTMLタグと違うところ。

文字列以外は半角英数字・スペース・記号が基本。

echo '文字列'...PHPが文字列をHTMLのソースとして出力する。

## PHPといえどもimgタグと同じようにHTML文中に埋め込めこむものだ！と理解する

### ワーク

imgタグの部分をPHP文に変更してみる

制限時間1分

変更用テキスト: <?php echo 'でも涼しくてさわやかです'; ?>

Check!

※"で囲まれた部分以外は必ず半角英数字、半角スペースで入力すること

作業ファイル: C:\xampp\htdocs\1\template.php コピー用テキスト: C:\xampp\htdocs\1\コピー用テキスト.txt  
確認URL: <http://localhost/1/template.php>



# PHPタグ内に改行を入れて文字を表示してみよう！

難易度:★★★★☆

```
11 本日は晴天なり。<br />↓
12 <?php echo 'でも涼しくてさわやかです'; ?><br />↓
13 といった感じです。↓
14 </body>↓

11 本日は晴天なり。<br />↓
12 <?php echo 'でも涼しくてさわやかです';↓
13     echo "アイスコーヒーが飲みたい気分です♪"; ?><br />↓
14 といった感じです。↓
15 </body>↓
```

## 文法

echo “HTMLとして出力される文字列”;  
echo ‘HTMLとして出力される文字列’;  
HTMLを出力するのはどちらでもOK！

※微妙な違いがあります。後で説明します。

- ①半角スペースやタブ、改行は適当に入れてもOK！
- ②文字列を囲うための記号は2種類ある。

## ワーク

上記のように<?php と ?>の間に改行を入れて文字を表示させる

制限時間1分30秒

余裕があれば自分の好きな文字を入れたり、再び改行して追記してみよう！

Check!

ソースが見やすく、読みやすいように適宜改行や半角スペースを入れておく。  
そうすることによってあとからわかりやすいようにしておく。

作業ファイル: C:\xampp\htdocs\1\template.php コピー用テキスト: C:\xampp\htdocs\1\コピー用テキスト.txt  
確認URL: <http://localhost/1/template.php>



# 最初のまとめ:PHPの書き方のルール・大原則!

上から順番に  
実行される

```
<?php  
echo "hello!<br />";  
$text = '私は魔女です<br />';  
echo $text;  
If (isset($text)) {  
echo "データはセットされています<br />";  
}  
?>
```

見本例文

← …改行

覚える!

①HTMLと違い、<?php ~ ?>の間は適宜改行できる。

②基本的に行の後ろ(命令文の後ろ)に「;」が付く

※例外として「{ }」でくられるところの「}」の後に「;」はつかない

③PHP文は原則、半角英数字、半角スペース、半角記号を使う

④PHP文はHTMLと同様に原則として上から順番に処理される


⑤文字列は " " もしくは ' ' で囲う

※違いがあります。後で説明します。

# PHPで出力させるものは実はHTML！

難易度:★★★★☆


```
11 本日は晴天なり。<br />↓
12 <?php echo 'でも涼しくてさわやかです';↓
13     echo "アイスコーヒーが飲みたい気分です♪"; ?><br />↓
14 といった感じです。↓
```



```
11 本日は晴天なり。<br />↓
12 <?php echo 'でも涼しくてさわやかです<br />';↓
13     echo "アイスコーヒーが飲みたい気分です♪"; ?><br />↓
14 といった感じです。↓
```

**brタグ追加！**

```
本日は晴天なり。
でも涼しくてさわやかですアイスコーヒーが飲みたい気分です♪
といった感じです。
```



```
本日は晴天なり。
でも涼しくてさわやかです
アイスコーヒーが飲みたい気分です♪
といった感じです。
```

PHPファイルがサーバーで処理されて  
HTMLとして出力されている

## ワーク

<br />を入れて改行させてみる。  
余裕があれば自分なりにさらにHTMLタグを追記してアレンジしてみる

制限時間1分

- 改行:<br />
- 強調:<strong>文字</strong>
- イタリック:<i>文字</i>

HTML文中の""とPHPの""が混ざると誤解釈されてしまう。  
HTMLの中で""を使うのであれば  
PHPで出力するのは「echo '<font color="red">...</font>」  
という感じで区別がつくようにすること

Check!

作業ファイル: C:\xampp\htdocs\1\template.php    コピー用テキスト: C:\xampp\htdocs\1\コピー用テキスト.txt  
確認URL: <http://localhost/1/template.php>



# 変数とは？

難易度: ★★☆☆☆

上から順番

```
13 echo "アイスコーヒーが"
14 $a = "気温は";↓
15 echo $a;↓「気温は」と出力
16 $a= 28;↓ 数値として上書き
17 echo $a;↓「28」と出力される
18 echo "度です";↓
19 ?><br />↓
```

## 文法

\$変数名 = “文字列”;・・・文字列として代入  
(\$変数名 = 数値;・・・数値として代入)

同じページだけでしか存在出来ない。  
(他のページへ引き継げない)  
上書きが可能。

文字列や数字を自由に出し入れできる箱と考える。  
(そのページだけでしか記憶出来ない一時的なメモリ)

## ワーク

先ほどのファイルにさらに上記のように追記してみて動作を確認してみる。

- ・変数に入れた値が表示されること
- ・変数が上書きされていること

余裕があれば、変数の内容を書き変えて試してみてください。

※今回はやりませんが、数値として代入した場合は変数を元に計算したりすることもできます。

\$a = \$a + 1; // \$aに代入されている数字に1を足して\$aに代入する

作業ファイル: C:\xampp\htdocs\1\template.php コピー用テキスト: C:\xampp\htdocs\1\コピー用テキスト.txt

確認URL: <http://localhost/1/template.php>

制限時間3分



# 変数でこんなことも出来ます(文字列の結合)

難易度: ★★☆☆☆

```
19 $nemuke = "眠い"; ↓ 変数に「眠い」と代入
20 echo $nemuke . "です!"; ↓ 「眠いです!」と表示
21 $nemuke = $nemuke . "わけないです!!"; ↓
22 echo $nemuke; ↓ 「眠い」に「わけないです!!」を
23 ?><br />. 結合して代入(上書き)
```

最終的に「眠いわけないです!!」と表示されます。

## 文法

\$変数名.**文字列** ... 文字列の結合

ピリオドでつなげる! ピリオドの前後は半角スペース入っていてもOK! (その辺はゆるい)  
変数に文字をつなげたものをさらに入れる(上書きする)こともできる  
※結合とは“つなげる”ことです

# 文字列は「.」で結合できる

## ワーク

上記のように文字の結合を書いてみて確認してみる  
まずは  
\$nemuke = "眠い";  
echo \$nemuke . "です!";  
と書いて表示を確認  
次に  
\$nemuke = \$nemuke . "わけないです!!";  
echo \$nemuke;  
と追加して書いて表示を確認。

制限時間3分

作業ファイル: C:\xampp\htdocs\1\template.php コピー用テキスト: C:\xampp\htdocs\1\コピー用テキスト.txt  
確認URL: <http://localhost/1/template.php>



# 予習用ワーク！（できれば4/12までに・・・）

予習用ワークです。

今までの流れでtemplate.phpを編集していると下記のように表示されます。

これをPHPの中だけを修正して読みやすいように改行を入れたり、着色、BOLDなどの装飾、つまりデザインをしてみてください！出来た方はFTPでyoshu/へアップしてください！

本日は晴天なり。

でも涼しくてさわやかです

アイスコーヒーが飲みたい気分です♪気温は28度です眠いです！眠いわけないです！！

といった感じです。

## ひとつだけ注意事項！！ HTMLで「”」を出力するには「' ’」で囲むこと

```
echo “こんにちは”;  
echo ‘こんにちは’;  
⇒どちらでも問題ない！
```

```
echo “<font color=“red”>こんにちは</font>”;  
echo ‘<font color=“red”>こんにちは</font>’;  
⇒上の方は引用符がすべて同じでPHPから見ればどこで区切られているのかわからなくなり、エラーとなる。
```

下側のように「'」を使った表記を推奨（本当はエスケープという方法もありますが今回は略します）

※一般的には役に立つワークですが、2時間目以降はこれを身につけなくてもいける方法をご提案します。

PHPの書き方に慣れるためのワークとってください。

失敗をすることが  
成功への近道！

Check!

実は慣れること  
経験値を積む  
ワーク



# 設定や共通処理の外部ファイル化

難易度: ★★☆☆☆

外部cssやjavascriptと同じようにPHPでも共通して使うものは外部ファイル化して使うことができる。  
この場合、外部ファイルで設定された変数も読み込んだファイルで有効になる。

```
2 $name = "wackey";//名前↓
10 わたしの名前は↓
11 <?php↓
12 require_once "common.php";↓
13 echo $name;↓
14 ?>↓
15 です↓ file1.php
```

common.php

## 文法

`require_once "ファイル名";`で外部ファイルを読みこむ。

例えば、API(Webサービス)で利用するアプリケーションIDやアフィリエイトIDなどを全ページで使いまわすので、これらを外部ファイル化(設定情報だけ書き込んだPHPファイルを作成)しておく。

## 共通に使う情報を外部ファイル化することによりメンテナンスをしやすくする。

### ワーク

common.phpファイル内の\$nameの内容をご自身の名前に書き換えてそれぞれのファイルで確認してみる

制限時間2分

2,3回ぐらい繰り返してやってみると覚えるのになお良い。  
もちろんcommon.phpの\$nameに代入しているところにhtmlタグなど追記してみても良い

Check!

予習課題で作成したcommon.phpはこれのことでこれから作成するものにすべて活用していきます。

作業ファイル: C:\xampp\htdocs\1\common.php

確認URL: <http://localhost/1/file1.php> <http://localhost/1/file2.php> <http://localhost/1/file1.php>

# 「”」と「'」の違い

難易度: ★★☆☆☆

前ページのcommon.phpに記入した内容をそのまま使います。

```
12 require_once "common.php";↓
13 echo "name=" . $name . "&nenrei=34<br />";↓
14 echo "ここで文字列結合の例外クイズです。上記と同じ文章になるのは次のどれでしょうか？<br />";
15 echo 'a.name=$name&nenrei=34<br />';↓
16 echo "b.name=$name&nenrei=34<br />";↓
17 echo 'c.name=[$name]&nenrei=34<br />';↓
18 echo "d.name=[$name]&nenrei=34<br />";↓
19 ?>↓
```

nenreiの数字は適当に変えてもらってOKですw

## 「”」で囲むと変数の内容が表示されることもある。

### ワーク

hensu.phpにアクセスしてみて違いを見つけてください。  
a.~d.で変数の周りに半角記号ではなく日本語を書いたらどうなるか見てみてください(うまくいかない!?)。

制限時間2分

Check!

2時間目以降の「リンクURLの組み立て」はこの変数の書き方(b.)を使って文字列をつなげていきます。今までの変数と文字列の結合との書き方の違いに注意してください。

作業ファイル: C:\xampp\htdocs\1\hensu.php

確認URL: <http://localhost/1/hensu.php>



# フォーム(GET)で異なるファイル間でのデータ受け渡し

難易度: ★★★★★

form.html

```
<form action="kakunin.php" metshod="get">
<p>お名前:<input type="text" name="onamae" value="" /><br />
<input type="submit" />
</p>
</form>
```

## 文法

フォームに入力した内容がnameにある属性と日もづけられたURLが生成される。

「wackey」と入力した！

<http://localhost/1/kakunin.php?onamae=wackey>

kakunin.php

```
<p>入力項目を確認してください。<br />
お名前:<?php
$name = $_GET["onamae"];
print $name;
?>
```

URLのパラメータとしてついた内容を\$\_GET['要素名']という変数に格納されて、それを使うことができる。

## フォームで入力されたものがURLのパラメータとなり 次のファイルへ引き渡される

## ワーク

まず、実際にフォームを使ってください。  
その入力内容と結果画面のURLと見比べてください

そして年齢や血液型など、フォームを増やして  
PHPファイルにも表示させてみてください。

作業ファイル: C:\xampp\htdocs¥1

確認URL: <http://localhost/1/form.php> → <http://localhost/1/kakunin.php> ※2時間目以降商品検索や詳細情報表示リンクURLとして使います。

```
お名前:<?php
$name = $_GET["onamae"];
print $name;
?>
年齢:<?php
.....;
.....;
?>
```

制限時間2分



# 1時間目のまとめ

慣れること！  
以上！

エラーが出たときに確認する初歩的なミスを確認する

□PHP文内(文字列以外)に全角スペースを使っていないか

(スペースは目でみてわからない！)

□行の一番後ろに「;」をつけ忘れていないか

□変数の頭に必ず「\$」が来るが、抜けているか「&」など違う記号にしていないか

□文字列を""もしくは"でくくり忘れていないか

□(サンプルをコピーせずに自分でPHPファイルを作成した場合)

改行コードをLF以外、文字コードをUTF-8以外にしていないか



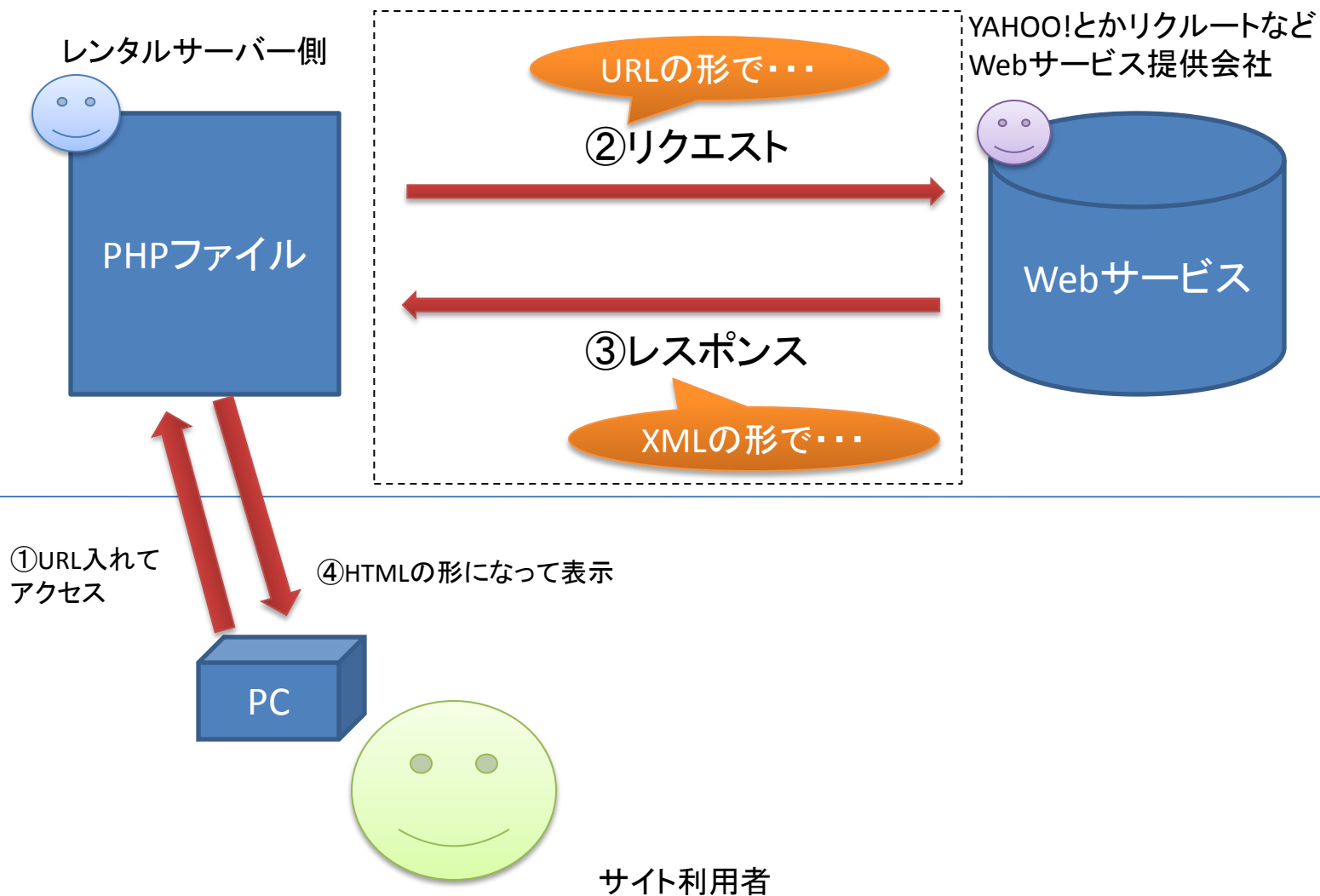
## 2時間目 YAHOO!ショッピング商品検索を例に作ってみよう！

---

- 2時間目を開始する前に事前準備で用意した (WebサービスAPIキー、アフィリエイトIDを記入した) common.phpを「2」フォルダの中に設置してください。



# Webサービスの使い方概要



# つまり、リクエストをURLに翻訳する！ところがポイント



PHPファイル

私は会員番号230番の人間が作ったPHPファイルなんですけど、「NIKE」のグッズを安い順に10件欲しいんですが…。

リクエストURLに翻訳

(例) <http://api/?memberid=230&name=nike&sort=%2Bprice&num=10>

```
<Modules/>
-<Hit index="1">
  <Name>生地 ポリエステルオーガンジー(244) 144ピンクベージュ 12</Name>
  <Description>
    ●素材:ポリエステル100% ●生地幅:140cm 【生地の特徴】全100色!!オカダヤ本店で取り扱っている色、生地、生地幅、生地厚、生地重さ、生地柄、生地柄の組み合わせが豊富です。【使用上のご注意】・数在庫がはつきりしない場合があります。在庫切れの際は、ご注文がキャンセルとなります。【取り扱い】・生地厚:100cm以下、ドライアイロンのみ可(スチームアイロン禁止)ドライクリーニング可・手洗(漂白禁止)【ご注文前に必ずお読みください】・表示されている価格は10cmの価格です。・染色ロット、ディスプレイ環境により、実際のカラーと異なる場合がございます。・生地厚:100cm以下、10cm単位で販売しております。(10cmご希望の場合は、数量1と入力して下さい。)・生地には希望カラー数でカット致しますが、お買上げの返品は行いません。・店舗在庫になりますのでご注文が確定しても、タイミングにより売り切れ・入荷待ち状態である場合がございます。
  </Description>
  <Headline/>
  <Url>
    http://store.shopping.yahoo.co.jp/okadaya-ec/2331030001407.htm
  </Url>
  <Availability>instock</Availability>
  <Code>okadaya-ec_2331030001407</Code>
  <PersonId/>
```

XML形式で返事する

あいよ。10件あったから、まとめて情報全部渡すねー。



API



# リクエストURLの組み立て方(YAHOO!ショッピング商品検索の例)

Yahoo!デベロッパネットワーク:トップ > ショッピング > 商品検索  
<http://developer.yahoo.co.jp/webapi/shopping/shopping/v1/itemsearch.html>

検索結果が多そうなもので  
あれば何でもOK! 次ページのワークに  
てやってみましょう!

お題:「生キャラメル」というキーワードを含んだ商品を安い順で10件表示



リクエストパラメーター  
(検索条件を追記できる)



①【必須】ベースURLを確認(XMLの場合の)

→<http://shopping.yahooapis.jp/ShoppingWebService/V1/itemSearch>

②【必須】アプリケーションIDを確認する

→appid=あなたのアプリケーションID

③【必須】検索キーワードを設定する。

※「生キャラメル」をUTF-8でURLエンコードして設定する

URLエンコードツール: <http://localhost/2/urlencode.html>

→query= %E7%94%9F%E3%82%AD%E3%83%A3%E3%83%A9%E3%83%A1%E3%83%AB

※ query (クエリー)とは検索キーワードのこと

④安い順(金額が小さいものから大きいものへ昇っていく)という条件を入れる

→ sort=%2Bprice (%2Bは「+」をURLエンコードしたもの)

⑤10件という条件を入れる

→ hits=10

最後にこれらをつなげてひとつのURLを作成! (2ページ後で使います)



# 実際にブラウザ上でリクエストしてみよう

難易度: ★★★★★

(前ページの続き)つなげると・・・

`http://shopping.yahooapis.jp/ShoppingWebService/V1/itemSearch?appid=あなたのアプリケーションID&query=%E7%94%9F%E3%82%AD%E3%83%A3%E3%83%A9%E3%83%A1%E3%83%AB &sort=%2Bprice&hits=10`

つなげ方はベースURLの後に「?」を入れて各パラメータを入れていきます。  
パラメータの追加は「&」でつなげていきます。  
Firefox3やIEなどブラウザのURL欄に直接入力します！

```
<Module/>
-<Hit Index:1>
<Name>生地 ポリエステルオーガンジー(244) 144ピンクページ_12</Name>
-<Description>
  ●素材:ポリエステル100% ●生地幅:140cm ●生地の特徴:全100色!!オカダヤ本店で取り扱っている色すべてオンラインショップで
  求められます! 商品画像は、2枚重ねた状態の色になります。【使用上のご注意】・蒸気漏れがほつれやすいので裁断は大きめに
  お願いします。・玉ふち始末の際、玉ふち巾が少し短く取れる場合がございますので、ご注意ください。【お取り扱い】揉み洗い禁止アイロン
  温度は120℃以下、ドライアイロンのみ可(チームアイロン禁止)ドライクリーニング可(干しホリ禁止)【ご注文前に必ずお読み下さい】
  ※すでにいる在庫は10cmの増設です。*売切ロスト、デッドストック、在庫切れにより、変更のカラーや数量がございます。*生地は10cm
  ら、10cm単位で販売しております。(10cmご希望の場合は、数量「1」と入力して下さい。)*生地はご希望メーカー数でカット致します為
  お届けの返品はお受けすることが出来ません。*店舗在庫にございますご注文が確定しても、タイミングにより売り切れ・入荷待ち
  状態である場合がございます。
</Description>
<Headline/>
-<Url>
  http://store.shopping.yahoo.co.jp/okadaya-ec/2331030001407.html
</Url>
<Availability>instock</Availability>
<Code>okadaya-ec_2331030001407</Code>
<PersonId/>
<ProductId/>
-<Image>
  /Okadaya-ec-2331030001407-010
```

リクエストURLは欲しい情報についての条件を  
URLに翻訳してつなげていくだけ!

## ワーク

あなたの好きな商品(ブランド)をキーワードとして  
(余裕があれば好きな条件で)リクエストURLを作成し、  
ブラウザで表示させてみてください

制限時間3分

例:

- ・1万円以下
- ・セール中の商品だけ出力
- ・送料無料で売れ筋順

参考URL: <http://developer.yahoo.co.jp/webapi/shopping/shopping/v1/itemsearch.html>



# 解読しよう！XMLファイルの見方

Yahoo!デベロッパネットワーク:トップ > ショッピング > 商品検索

<http://developer.yahoo.co.jp/webapi/shopping/shopping/v1/itemsearch.html>



レスポンスフィールド  
(どんなデータが含まれているか)



```
<Modules/>
-<Hit index="1">
  <Name>生地 ポリエステルオーガンジー(2440)
  <Description>
    ●素材:ポリエステル100% ●生地幅:140cm 【
    求め頂けます！商品画像は、2枚重ねた状態
    います。・玉ふち始末の際、玉ふち巾が少な
    度は120℃以下、ドライアイロンのみ可(スチー
    示されている価格は10cmの価格です。・染色ロット、ディスプレイ環境により、実際のカラーと異なる場合がございます。・生地は10cm
    ら、10cm単位で販売しております。(10cmご希望の場合は、数量「1」と入力して下さい。)・生地はご希望メートル数でカット致します為
    お届け後の返品はお受けすることが出来ません。・店舗在庫になりますのでご注文が確定しても、タイミングにより売り切れ・入荷待ち
    態である場合がございます。
  </Description>
  <Headline/>
  <Url>
    http://store.shopping.yahoo.co.jp/okadaya-ec/2331030001407.html
  </Url>
  <Availability>instock</Availability>
  <Code>okadaya-ec_2331030001407</Code>
  <PersonId/>
  <ProductId/>
  <Image>
    <Id>okadaya-ec_2331030001407</Id>
    <Small>
      http://a248.e.akamai.net/f/248/37952/1d/image.shopping.yahoo.co.jp/i/c/okadaya-ec_2331030001407
    </Small>
    <Medium>
      http://a248.e.akamai.net/f/248/37952/1d/image.shopping.yahoo.co.jp/i/g/okadaya-ec_2331030001407
    </Medium>
  </Image>
  <Review>
    <Rate>0.00</Rate>
    <Count>0</Count>
```

クリックすると<Description>~</Description>の間をたたむことができる  
他も同様に閉じることができる。  
どんなツリー構造になっているかクリックして確かめよう！  
たたむことによって、上下関係がどのようにになっているか、わかります。  
それぞれのタグのようなものはレスポンスフィールド内に説明が書いて  
あります。

HTMLと同じように階層(ツリー)構造になっている。  
(head部分、body部分・・・etc)

# XMLファイルの見方解説①Result階層

全体はHTMLと同じようにヘッダ一部分(<head>)と本文部分(<body>)があるようにXMLもヘッダ一部分、本文部分とツリー構造になっていると考える

```
-<ResultSet xsi:schemaLocation="urn:yahoo:jp:itemSearch http://shk
totalResultsReturned="10" FirstResultPosition="1">
  -<Result>
    -<Request>
      <Query>生キャラメル</Query>
    </Request>
    <Modules/>
    +<Hit index="1"></Hit>
    +<Hit index="2"></Hit>
    +<Hit index="3"></Hit>
    +<Hit index="4"></Hit>
    +<Hit index="5"></Hit>
    +<Hit index="6"></Hit>
    +<Hit index="7"></Hit>
    +<Hit index="8"></Hit>
    +<Hit index="9"></Hit>
    +<Hit index="10"></Hit>
  </Result>
</ResultSet>
```

返した結果が10件分

検索キーワードは「生キャラメル」

<Hit index=...>の左側の「+」をクリックして畳んだ状態  
これはそれぞれの商品の結果をくくっているタグと考えて良いでしょう。

xmlファイル->Result

色が塗られた部分が「xmlファイル->Result」という書き方をすることを覚えておく

参考URL: <http://developer.yahoo.co.jp/webapi/shopping/shopping/v1/itemsearch.html>

# XMLファイルの見方解説②Hit階層(商品個別情報)

ひとつ階層を下るとアイテム単位の結果を読むことができます。

```
<ResultSet xsi:schemaLocation="urn:yahoo:jp:itemSearch http://shopping.yahooapis.jp/ShoppingWebService/V1/ItemSearch.xsd" totalRe-
totalResultsReturned="10" firstResultPosition="1">
  <Result>
    <Request>
      <Query>生キャラメル</Query>
    </Request>
    <Modules/>
    <Hit index="1">
      <Name>花畑牧場 生キャラメルセット【プレーン×2個 チョコ×1個 いちご×1個 パナナ×1個】</Name>
      <Description>
        「生キャラメル」が毎日セット内容を変えて登場いたします！毎日変わる生キャラメルセット、明日はどんなセットになるかお楽しみに！>
        ります。
      </Description>
      <Headline>春の特別企画「毎日変わる生キャラメルセット」</Headline>
      <Url>
        http://store.shopping.yahoo.co.jp/hanabatakebokujo/hana0022.html
      </Url>
      <Availability>instock</Availability>
      <Code>hanabatakebokujo_hana0022</Code>
      <PersonId/>
      <ProductId/>
      <Image>
        <Id>hanabatakebokujo_hana0022</Id>
        <Small>
          http://a248.e.akamai.net/f/248/37952/1d/image.shopping.yahoo.co.jp/i/c/hanabatakebokujo_hana0022
        </Small>
        <Medium>
          http://a248.e.akamai.net/f/248/37952/1d/image.shopping.yahoo.co.jp/i/g/hanabatakebokujo_hana0022
        </Medium>
      </Image>
      <Review>
        <Rate>4.03</Rate>
      </Review>
    </Hit>
  </Result>
</ResultSet>
```

どんな情報が取り  
出せるか  
チェックしておこう！

商品名  
商品説明文  
キャッチコピー  
商品個別URL  
購入できるか(在庫切れで無いか)  
商品コード

画像(画像の下に新たな階層がある！)  
- 小さいサイズの画像URL  
- 中くらいのサイズの画像URL  
レビュー平均評価...

xmlファイル->Result->Hit(1件目)

Hit以下に個別の商品情報のデータが含まれている(リンク、画像URL、商品説明等)

参考URL: <http://developer.yahoo.co.jp/webapi/shopping/shopping/v1/itemsearch.html>

# APIを使うPHPプログラム作成手順の説明

- ここから仕切り直してPHPでリクエストURLを作ってHTML出力まで進めておきます。
- このやり方、流れは今後どんなWebサービスでも共通して使える「やり方」なので、ぜひ実践の時に参考にしてください。

鉄則

## ①材料を揃える

- Webサービス(API)を利用するためのアプリケーションID取得
- アフィリエイトする場合は提携とアフィリエイトコード取得
- リクエストURL(ベースURL)の確認
- リクエストパラメータの確認(どんな条件で検索できるか)
- レスポンスフィールドの確認(どんな結果を得られるか)

## ②設定ファイル(例:common.php)の作成

- WebアプリケーションIDなどサイト内で共通して使うものを保存

## ③リクエストURLを組み立ててみる

## ④取得したデータをHTML化する

# ①②③PHPでリクエストURLを組み立てるには？

難易度:★★★★☆

1.アプリケーションIDやバリュコマIDなどは外部ファイル化しておく(common.phpで済)  
→追加で作成するPHPでもその外部ファイルを読み込んでそのデータを活用できる

鉄則

2.文字列はエンコードしたものを使うのではなく、PHP内で文字列をPHPでエンコード処理する。  
→rawurlencode(変数);を使う。

3.表示するもの以外はすべてHTMLの頭で処理する(HTMLより先にPHPでプログラムしておく)  
→metaタグ内やTITLEタグ内に処理結果を反映させることができます。

## 外部ファイルの読み込み、文字列の結合など 1時間目での学習をそのまま応用するだけ！

ワーク

まずはリンクURLをPHPで組み立てて、そのURLが正しく作られているかどうかを確認する

制限時間5分

一緒に作業していきましょう

☆リクエストURLの組み立て

①common.phpに設定情報を書き込む(事前課題のcommon.phpで済んでいるので「2」フォルダに設置するだけでOK)

②url.phpにてリンクURLを組み立てる

☆組み立てたURLの確認

③まずはリンクurlを設定した\$urlを単純に出力。その出力されたURLをコピーして、実際にリクエストできるかどうか確認する。

参考URL: <http://developer.yahoo.co.jp/webapi/shopping/shopping/v1/itemsearch.html>

作業ファイル: C:\xampp\htdocs\2\url.php

確認URL: <http://localhost/2/url.php>

このページの作業は  
実践でもやってください!  
リクエストURLが間違え  
ているかどうかを確認  
できるのでぜひやって  
ください。

※ここで表示したXMLファイルをブラウザで開いたままにして  
それぞれの要素名をコピーして作るやり方がスムーズです。

# ①②③アフィリエイトリンクURLを組みこむには？

難易度: ★★★★★

affiliate_type	yii/vc	Yahoo! JAPANアフィリエイト(yid)とバリューコマースアフィリエイト(vc)の選択。 例: affiliate_type=yid
affiliate_id	string	Yahoo! JAPANアフィリエイトIDもしくは、バリューコマースアフィリエイトIDを入力。

- affiliate\_typeにvcを指定 (Yahoo!ショッピングアフィリエイトの場合はyidを指定、バリューコマースアフィリエイトはvcを指定。)
- affiliate\_idに御社のsidとpidを含む値を指定。

affiliate\_idのサンプル(例 sidが2435064 pidが877326618だった場合)

```
http%3A%2F%2Fck.jp.ap.valuecommerce.com%2FServlet%2Freferral%3Fsid%3D2435064%26pid%3D877326618%26vc_url%3D
```

## YAHOO!ショッピング商品検索APIの場合は パラメータ追加でアフィリエイトリンク自動生成！

### ワーク

制限時間1分

「//」とPHP文章内でアフィリエイトリンクにするためのパラメータを追加する記述をコメントにしていますので、それを削除するだけでOK。アフィリエイト対応リクエストURLを組み立てる仕組みだけ理解しておきましょう。

出力されたURLをコピーしてブラウザで表示して正しく動くか確認  
(商品リンク先がバリューコマースアフィリエイトリンクになっているか確認)

参考URL: <http://developer.yahoo.co.jp/webapi/shopping/shopping/v1/itemsearch.html>

作業ファイル: C:\xampp\htdocs\url.php

確認URL: <http://localhost/2/url.php>



## ④PHPでXMLを個々の情報に翻訳して取り出すには？難易度:★★★★☆

XML文章をデータに変換して取り込み、それを一個ずつ取り出してHTMLで表示する

```
$xml = simplexml_load_file($url);  
$hits = $xml->Result->Hit;
```

Simplexml\_load\_fileでリクエストURLにアクセスし、その内容を\$xmlという変数に入れる  
その後、xmlデータ(\$xml)の中のResult->Hitの階層に降りたところのデータのみ\$hitsという変数に入れます。



```
foreach ($hits as $hit) {  
    echo h($hit->Name)."<br />";  
    echo h($hit->Url)."<br />";  
    echo h($hit->Image->Medium)."<br />";  
    echo h($hit->Description)."<br />";  
}
```

文法

※XMLデータのHit以下の情報(=商品個別情報)のみを扱う。

# XMLデータをsimplexmlで読みこんで、 一つずつ分解して取り出して表示する

ワーク

一緒に作業していきましょう

制限時間3分

- ①組み立てたURLを元にsimplexmlでXMLデータを取り出す。
- ②XMLデータのHit階層まで降りて、そこからのデータを\$hitsに代入する
- ③foreachで\$hitsに格納された商品データをひとつずつ取り出して\$hitに格納。  
商品数分繰り返す
- ④本文表示部分に商品名、リンクURL、画像URL、説明文の情報だけピックアップして表示します。

参考URL: <http://developer.yahoo.co.jp/webapi/shopping/shopping/v1/itemsearch.html>

作業ファイル: C:\xampp\htdocs\url.php コピー用テキスト: C:\xampp\htdocs\url\コピー用テキスト.txt

確認URL: <http://localhost/2/url.php>



# PHPで出力する部分を単純化する(HTMLタグのように扱う)

```
<?php
foreach ($hits as $hit) {
echo h($hit->Name)."<br />";
echo h($hit->Url)."<br />";
echo h($hit->Image->Medium)."<br />";
echo h($hit->Description)."<br />";
}
?>
```



PHPの中にHTMLが入ると見づらい、書きにくい

```
<p><?php foreach ($hits as $hit) { ?>
<div class="Item">
<h2><a href="<?php echo h($hit-
>Url); ?>"><?php echo h($hit-
>Name); ?></a></h2>
<p><a href="<?php echo h($hit-
>Url); ?>"></a><?php echo
h($hit->Description); ?></p>
</div>
<?php } ?>
</p>
```

Check!

実際の表示内容に近いのでわかりやすい

**PHPタグ化！(HTMLの中にタグとして埋め込むだけ！)**

```
<?php echo h($hit->Description); ?>
```

HTMLとして表示したい情報のフィールド(種類)を指定する

商品データの個別の情報ごとにPHPタグ化。  
シンプルにタグ化することで、  
既存のHTMLに埋め込む感覚で使える！

# YAHOO!ショッピングでPHPタグ化したものの例

```
<ResultSet xsi:schemaLocation="urn:yahoo:jp:itemSearch http://shopping.yahooapis.jp/ShoppingWebService/V1/ItemSearch.xsd" totalResultsReturned="10" firstResultPosition="1">
  <Result>
    <Request>
      <Query>生キャラメル</Query>
    </Request>
    <Modules/>
    <Hit index="1">
      <Name>花畑牧場 生キャラメルセット【プレーン×2個 チョコ×1個 いちご×1個 パナナ×1個】</Name>
      <Description>
        「生キャラメル」が毎日セット内容を変えて登場いたします！毎日変わる生キャラメルセット、明日はどんなセットになるかお楽しみに！>
      </Description>
      <Headline>春の特別企画「毎日変わる生キャラメルセット」</Headline>
      <Url>
        http://store.shopping.yahoo.co.jp/hanabatakebokujo/hana0022.html
      </Url>
      <Availability>instock</Availability>
      <Code>hanabatakebokujo_hana0022</Code>
      <PersonId/>
      <ProductId/>
      <Image>
        <Id>hanabatakebokujo_hana0022</Id>
        <Small>
          http://a248.e.akamai.net/f/248/37952/1d/image.shopping.yahoo.co.jp/i/c/hanabatakebokujo_hana0022
        </Small>
        <Medium>
          http://a248.e.akamai.net/f/248/37952/1d/image.shopping.yahoo.co.jp/i/g/hanabatakebokujo_hana0022
        </Medium>
      </Image>
      <Review>
        <Rate>4.03</Rate>
      </Review>
    </Hit>
  </Result>
</ResultSet>
```

```
繰り返し開始<?php foreach ($hits as $hit) { ?>
...
繰り返し終了<?php } ?>
```

```
商品名 <?php echo h($hit->Name); ?>
商品説明文 <?php echo h($hit->Description); ?>
キャッチコピー<?php echo h($hit->Headline); ?>
商品個別URL <?php echo h($hit->Url); ?>
購入できるか<?php echo h($hit->Availability); ?>
商品コード <?php echo h($hit->Code); ?>
```

```
画像(画像の下に新たな階層がある！)
- 小さいサイズの画像URL
  <?php echo h($hit->Image->Small); ?>
- 中くらいのサイズの画像URL
  <?php echo h($hit->Image->Medium); ?>
```

Hit以下に個別の商品情報のデータが含まれている(リンク、画像URL、商品説明等)

## ④HTMLで画像表示など見やすく整形してみよう！ 難易度:★★★★☆

文法

```
<?php
foreach ($hits as $hit) {
echo h($hit->Name)."<br />";
echo h($hit->Url)."<br />";
echo h($hit->Image->Medium)."<br />";
echo h($hit->Description)."<br />";
}
?>
```



```
<p><?php foreach ($hits as $hit) { ?>
<div class="Item">
<h2><a href="<?php echo h($hit->Url); ?>"><?php echo
h($hit->Name); ?></a></h2>
<p><a href="<?php echo h($hit->Url); ?>"></a><?php echo h($hit->Description); ?></p>
</div>
<?php } ?>
</p>
```

PHPの処理の途中で一旦閉じて  
HTML文を割り込ませて良い。再びPHPに戻す

ワーク

最後は自力で！

Check!

イメージ

制限時間5分

- ①商品のタイトル名はh2タグで
- ②画像はimgタグで画像URLをPHPで指定
- ③商品のタイトルと画像にその商品へのリンク
- ④説明文は適当に出してください
- ⑤余裕があればタイトルタグも「～の検索結果」

実際に何か作る時はまず、HTMLでダミーのテキスト、画像を入れて、整形し、あとでphpのコードを埋め込むとスムーズです。

[花畑牧場 生キャラメルセット【プレーン×2個、チョコ×1個、レモン×1個】](#)



「生キャラメル」が毎日セット内容を変えて登場いたします！毎日変わる生キャラメルが楽しめます。

[花畑牧場 生キャラメルプリン](#)



生キャラメルを練りこみ、まるやかほろ群の生キャラメルプリン、なめらかなプリンが楽しめます。

参考URL: <http://developer.yahoo.co.jp/webapi/shopping/shopping/v1/itemsearch.html>

作業ファイル: C:\xampp\htdocs\2\url.php コピー用テキスト: C:\xampp\htdocs\2\コピー用テキスト.txt

確認URL: <http://localhost/2/url.php>

## 鉄則

### ①材料を揃える

- ・Webサービス(API)を利用するためのアプリケーションID取得
- ・アフィリエイトする場合は提携とアフィリエイトコード取得
- ・リクエストURL(ベースURL)の確認
- ・リクエストパラメータの確認(どんな条件で検索できるか)
- ・レスポンスフィールドの確認(どんな結果を得られるか)

### ②設定ファイル(例: common.php)の作成

- ・WebアプリケーションIDなどサイト内で共通して使うものを保存

### ③リクエストURLを組み立ててみる

### ④取得したデータをHTML化する

### ⑤欲張る(貪欲に組み合わせる)

# 課題演習は3コースの中から選択

30分+αで作って今日から使えるものを作る！※HTML+CSS+Javascript、基本PHP部分のテンプレートだけ用意しています  
**リクエストURLの組み立てを必須**として、表示項目の追加や見せ方、カスタマイズは各自にお任せします。

## 課題A: ブログパーツ

難易度: ★★☆☆☆



IFRAMEでPHPファイルを呼び出す  
ランキングブログパーツ。  
カテゴリだけでなく性別ごと、年代  
別のランキングも出せます。自分  
好みのデザインにしてみましょう！

余裕があればブログパーツを  
Javascript化してみましょう！

**ヤフーショッピングAPI  
バリューコマース使用**

## 課題B: ホットペッパー検索サイト

難易度: ★★★★★



地域検索をプルダウンで動的に呼び  
出し、詳細のエリアまで落として検索  
する居酒屋もしくはサロン検索サイト。  
※jQueryで動くリクルート社提供のUIラ  
イブラリーを使います。

**リクルートWebサービス  
バリューコマース使用**

## 課題C: 旅行系サイト

難易度: ★★★★★



今日勉強したPHPをフル活用して効  
率的なサイト構築と旅行系API2種  
(施設情報、施設検索)を使った、  
旅行アフィリエイトサイトの骨組を  
たった30分で作ることを目指します。

**楽天トラベル・楽天アフィリエイト使用**

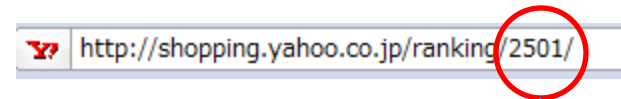


# 課題A: 売上ランキングブログパーツ

制限時間50分

難易度: ★★★★★

コスメの売上ランキングを表示した場合、カテゴリーIDは2501



リクエストURL例

`http://shopping.yahooapis.jp/ShoppingWebService/V1/categoryRanking?appid=$appid&category_id=2501&period=daily`

アプリケーションID必須

デイリーランキング

① common.php にアプリケーションIDなどを書き込む(済) ⇒ 事前課題の common.php ファイルをコピーして /3/travel フォルダへ格納

作業ファイル: C:\xampp\htdocs\3\blogparts\common2.php

② リクエストURLを組み立てる

どの売れ筋ランキングにするかは YAHOO! ショッピングのページの売上ランキングに移動して表示させたいカテゴリを選びます。その時の URL の数字がカテゴリーIDです。

(Javascript化する方はここで次のページへ。自分のブログの色や文字サイズに合わせて表示させます)

③ 好きなようにデザインを調整する(横幅、色・・・など)

参考URL: <http://developer.yahoo.co.jp/webapi/shopping/shopping/v1/categoryranking.html>

作業ファイル: C:\xampp\htdocs\3\blogparts\index.php

確認URL: <http://localhost/3/blogparts/index.php>



# 課題A: 売上ランキングブログパーツJavascript化

IFRAMEだとサイズ指定して固定されてしまうが、Javascriptブログパーツだと入れた場所(サイドバー等)に応じて横幅も縦幅も自由に調整できる。

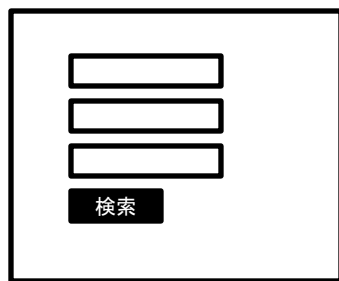
また、IFRAMEが使えないブログサービスでもJavascriptなら貼り付けられるので、それを利用する。

- ①HTMLのHead部分などブログに表示するときに必要な要素を削除。  
(冒頭のPHPとdivタグを含めたその中だけ残す)
- ②PHPの頭の方に「header(“Content-type: application/x-javascript”);」と追加
- ③表示するHTMLの前にecho ‘document.open();’;を追加、後ろにecho ‘document.close();’;を追加
- ④ echo ‘document.write(¥’ . \$line . ‘¥’);’;という感じでdocument.writeで書き出す
- ⑤ <script src=“設置したPHPのURL” type=“text/javascript”></script>という感じでブログの入れたい場所に入れる

すいません、当日ご希望の方、個別に直接説明します。

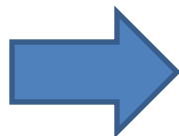


## A. 地域絞り込み検索



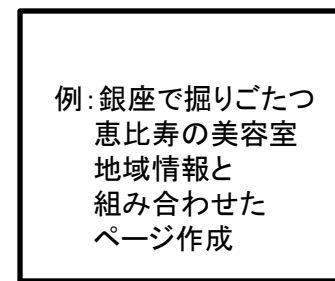
A diagram of a search form. It consists of three horizontal input fields stacked vertically, and a black button with the white text "検索" (Search) below them.

index.php



kekka.php

## B. エリア特集ページ



area1.php～area6.php

### <設定ファイル>

common.php・・・事前課題で準備したもの

common2.php・・・このサイトの基本情報(サイト名、メニュー項目等)

すでに用意されているライブラリを利用して  
高度な検索インタフェース制作時間短縮!



# 課題B:居酒屋or美容室検索サイト作業手順

①common.phpにアプリケーションIDなどを書き込む(済)⇒事前課題のcommon.phpファイルをコピーして/3/travelフォルダへ格納

②common2.phpにこれから作る旅行系サイトのタイトルやサブタイトル、メニュー用のテキストを入れます

③バリューコマースを使う場合はホットペッパーの「自由テキスト」のsidとpidをこのファイル一番下に記入

```
1 <?php+
2 // このサイトの設定情報をここに書き込みます。+
3 // この内容が全ページに反映されます。+
4 +
5 +
6 // このサイトのタイトル+
7 $title = "ぐるっと居酒屋検索";+
8 +
9 // このサイトのサブタイトル+
10 $subtitle = "ホットペッパーに掲載のお店からあなた好みに検索!";+
11 +
12 // ヘッダーメニュー表示内容+
13 $menu = "+
14 <li id="area1"><a href="area1.php" accesskey="1">池袋で掘りごたつ</a></li>+
15 <li id="area2"><a href="area2.php" accesskey="2">銀座でソムリエ</a></li>+
16 <li id="area3"><a href="area3.php" accesskey="3">新宿で夜景</a></li>+
17 <li id="area4"><a href="area4.php" accesskey="4">六本木で夜中に食事</a></li>+
18 <li id="area5"><a href="area5.php" accesskey="5">横浜でお子様OK</a></li>+
19 <li id="area6"><a href="area6.php" accesskey="6">無隣で貸し切り</a></li>+
20 +
21 +
22 // フッターCopyright等+
23 $copyright = "Copyright 2009 ムジログ All Rights Reserved.";+
24 +
25 // ホットペッパー用バリューコマースID+
26 $hsid = "2508391";+
27 $pid = "878057351";+
28 +
29 +
30 +
```

※common2.phpは全ファイルから呼び出されます。  
\$titleなどの変数にタイトルなど全ページで共通する内容が代入されています。

各ページはcommon2.phpを呼び出し、変数に代入されたものを利用してecho h(\$title);というPHPコマンドを実行することにより、タイトルなどを表示しています。  
つまりこのcommon2.php 1ファイルを変えるだけで全ページの情報が切り替わります。これは似たようなサイトを作ったり修正する手間を省くことができます。

全ページ共通する内容を外部ファイル化する。  
それにより修正や同じようなサイトが素早く作れる！

作業ファイル:C:\xampp\htdocs\3\izakaya\common2.php ※居酒屋検索の場合

作業ファイル:C:\xampp\htdocs\3\beauty\common2.php ※美容室検索の場合

# 課題B:居酒屋or美容室検索サイト作業手順

## 検索結果ページの作成

### ぐるっと居酒屋検索

地域: 関東  
都道府県: 東京  
エリア: 池袋・巣鴨・大塚  
詳細エリア: 指定なし  
さ、サーチ!

①トップページ(index.php)からプルダウン検索で4つのパラメータが送られてきます。それらをそれぞれ\$\_GETで受取変数に格納しています。

```
$large_service_area = $_GET['large_service_area'];  
$service_area = $_GET['service_area'];  
$middle_area = $_GET['middle_area'];  
$small_area = $_GET['small_area'];
```

これらの変数をパラメータとし、リクエストURLを組み立ててください。

### さらっとサロン検索

サービスエリア: 関東  
中エリア: 池袋  
詳細エリア: 指定なし  
さ、サーチ!

APIキーはcommon.phpに\$recruit\_apikey = "";の部分に記入してください。また、リクエストURLにAPIキーが必要なのでこの\$recruit\_apikey を使ってください。

参考URL: <http://webservice.recruit.co.jp/hotpepper/reference.html#a1to> ホットペッパーグルメサーチAPI

作業ファイル: C:\xampp\htdocs\3\izakaya\kekka.php

確認URL: <http://localhost/3/izakaya/kekka.php>

参考URL: <http://webservice.recruit.co.jp/beauty/reference.html#a1to> ホットペッパーサロンサーチAPI

作業ファイル: C:\xampp\htdocs\3\beauty\kekka.php

確認URL: <http://localhost/3/beauty/kekka.php>



# 課題B:居酒屋or美容室検索サイト作業手順

## エリア特集ページの作成

### ぐるっと居酒屋検索

地域: 関東  
都道府県: 東京  
エリア: 池袋・巣鴨・大塚  
詳細エリア: 指定なし  
さ、サーチ!

①ページタイトルをarea1.phpの冒頭  
\$pagetitle="池袋でほりごたつ特集";  
のように設定する(タイトルタグやパン屑ナビなどに反映)

②エリアのパラメータを知るには一度検索してみる。  
例えば「池袋」の場合先のように検索し、  
kekka.php?large\_service\_area=SS10&service\_area=SA11&middle\_area=Y050&small\_area=  
という結果が得られることを確認する。  
それを元にarea1.phpに  
\$large\_service\_area = "SS10";  
\$service\_area = "SA11";  
\$middle\_area = "Y050";  
\$small\_area = "";  
と書きこむ

リクエストURL部分は検索結果ページと基本的に同じ。

③これに「掘りごたつ有り」という条件をつける時はそれに応じてパラメータを追加する  
例: horigotatsu=1というパラメータを加える

参考URL: <http://webservice.recruit.co.jp/hotpepper/reference.html#a1to> ホットペッパーグルメサーチAPI

作業ファイル: C:\xampp\htdocs\3\izakaya\area1.php →出来たらコピーしてarea2.php、area3.php、area4.php、area5.phpと作る

確認URL: <http://localhost/3/izakaya/area1.php>

参考URL: <http://webservice.recruit.co.jp/beauty/reference.html#a1to> ホットペッパーサロンサーチAPI

作業ファイル: C:\xampp\htdocs\3\beauty\area1.php →出来たらコピーしてarea2.php、area3.php、area4.php、area5.phpと作る

確認URL: <http://localhost/3/beauty/area1.php>

# 課題C:旅行系サイト全体像

制限時間50分

難易度:★★★★★



<設定ファイル>

common.php・・・事前課題で準備したもの

common2.php・・・このサイトの基本情報(サイト名、メニュー項目等)

楽天トラベルで提供されている2種のAPIで  
そのエリアのホテル一覧とその詳細情報表示！

# 課題C:旅行系サイト作業手順

- ①common.phpにアプリケーションIDなどを書き込む(済)⇒事前課題のcommon.phpファイルをコピーして/3/travelフォルダへ格納
- ②common2.phpにこれから作る旅行系サイトのタイトルやサブタイトル、メニュー用のテキストを入れます

```
<?php↓
// このサイトの設定情報をここに書き込みます。↓
// この内容が全ページに反映されます。↓
↓
// 旅行サイトのタイトル↓
$title = "何度も行きたい箱根温泉";↓
↓
// 旅行サイトのサブタイトル↓
$subtitle = "箱根湯本温泉, 強羅温泉, 仙石原温泉, 芦ノ湖温泉, 湯河原温泉";↓
↓
// ヘッダーメニュー表示内容↓
$menu = "↓
<a href='areal.php'>箱根湯本温泉</a>↓
<a href='areal.php'>強羅温泉</a>↓
<a href='areal.php'>仙石原温泉</a>↓
<a href='areal.php'>芦ノ湖温泉</a>↓
<a href='areal.php'>湯河原温泉</a>↓
<a href='areal.php'>宿泊空室検索</a>';↓
↓
// フッターCopyright等↓
$copyright = 'Copyright 2009 オトコ磨きドットジェイビー All Rights Reserved.';↓
↓
?>↓
```

※common2.phpは全ファイルから呼び出されます。  
\$titleなどの変数にタイトルなど全ページで共通する内容が  
代入されています。

各ページはcommon2.phpを呼び出し、変数に代入されたもの  
を利用してecho h(\$title);というPHPコマンドを実行すること  
により、タイトルなどを表示しています。  
つまりこのcommon2.php 1ファイルを変えるだけで全ページ  
の情報が切り替わります。これは似たようなサイトを作ったり  
修正する手間を省くことができます。

全ページ共通する内容を外部ファイル化する。  
それにより修正や同じようなサイトが素早く作れる！

作業ファイル: C:\xampp\htdocs\3\travel\common2.php



# 課題C:旅行系サイト作業手順

## 楽天ウェブサービスでの注意事項

楽天ウェブサービスではxmlファイルに「:」が付いたものがあり、これがsimplexmlではそのまま処理できないため、それをカバーする処理を追加します。

```
// xmlファイルを一度ファイルとして取得して変数に格納
$xml = file_get_contents($rwsurl);

// 楽天の場合「:」が入っている要素名がある。
// simpleXMLでは扱えないので、その文字を削除する。
$xml = str_replace('header:Header', 'headerHeader', $xml);
$xml = str_replace('keywordHotelSearch:KeywordHotelSearch', 'keywordHotelSearchKeywordHotelSearch', $xml);
// 変数に入れられた文字列をsimpleXMLで読みこむ
$xml = simplexml_load_string($xml);
```

← 変数に格納するとset\_replaceで文字を置き換え出来る

Xmlファイル中の「header:Header」を「headerHeader」と書き換えてsimpleXMLで使えるようにする。

**文法** str\_replace・・・文字の置き換えを行う

※この作業をする時間を省くために  
あらかじめこれに対応したソースを各ファイルに記入してあります。  
リクエストURLの組み立てのみやっていただきます。

# 課題C:旅行系サイト作業手順

## エリアページの作成



### ヘッダー

①エリアの説明(任意)  
→写真とかあると旅行サイトっぽい。  
お時間があるときにどうぞ！

②そのエリアのホテル・旅館一覧

①まずこのページの設定をします。area1.phpファイルを開いて4行目の\$areaname = " \* \* \* \* ";を変更します。

これひとつで、そのページのタイトルやパン屑ナビが変わるようにPHPタグを埋め込んであります。

②「\$rwsurl = 」の部分でリンクURLを組み立ててください。

エリア名で検索を行います。エリア名はそれより上の行で設定され、URLエンコードまでの処理が書かれています。

③このまま楽天トラベルのホームページへリンクしても良いですが、

自分のサイト内で表示させるためにホテル番号を取得して「syosai.php?num=70712」というように「num=・・・」とホテル番号を指定したURLを作成してリンクを貼ります(そのようにすでに書いています)。

詳細ページではそのnum=・・・という値を受け取って、そのホテル番号の施設情報詳細を表示します。

④表示を確認します。

⑤余裕があれば、表示する項目増やしたりできますので、チャレンジしてください！ ^^

※area1.phpの動作を確認できれば、新しいエリアを増やすのはこのファイルを単にコピーしてarea2.php、area3.php・・・として頭の\$areaname = " \* \* \* \* ";を変更するだけで新しいエリアページが完成します。

参考URL: <http://webservice.rakuten.co.jp/api/keywordhotelsearch/> 楽天トラベルキーワード検索API (version:2009-02-03)

作業ファイル: C:\xampp\htdocs\travel\area1.php →出来たらコピーしてarea2.php、area3.php、area4.php、area5.phpと作る(数は任意)

確認URL: <http://localhost/3/travel/area1.php>

# 課題C:旅行系サイト作業手順

## 施設詳細ページの作成



- ① 「syosai.php?num=70712」という形で施設番号を受け取ります。
- ② 「\$rwsurl = 」の部分でリンクURLを組み立ててください。  
施設番号はその上のほうの行で\$num = \$\_GET["num"]と書かれているので\$numという変数を使ってリクエストURLを組み立てます。
- ③ 施設詳細情報の表示を確認します。
- ④ 余裕があれば、表示する項目増やしたりできますので、チャレンジしてください！ ^^

参考URL: <http://webservice.rakuten.co.jp/api/hoteldetailsearch/> 楽天トラベル施設情報API (version:2009-03-26)

作業ファイル: C:\xampp\htdocs\3\travel\syosai.php

確認URL: <http://localhost/3/travel/syosai.php>



# 小ネタなど

---

モバイル用の画像取得

→サイズ記号cをgへ置き換える。「str\_replace 関数」を使う

```
$mobiimgsrc= h($hits->$num->Image->Medium);
```

```
$mobiimgsrc =
```

```
str_replace('http://a248.e.akamai.net/f/248/37952/1d/image.shopping.yahoo.co.jp/i/g/', 'http://a248.e.akamai.net/f/248/37952/1d/image.shopping.yahoo.co.jp/i/c/', $mobiimgsrc);
```

## ■ 画像URL

```
http://a248.e.akamai.net/f/248/37952/1d/image.shopping.yahoo.co.jp/i/c/...
```

長すぎる商品文を途中でぶちぎる

→文字をカットする「mb\_substr」を使う。

また、そのあとに「...」を表示し、文章に続きがあることを示す

```
$disc = h($hit->Description);
```

```
$disc = mb_substr ($disc,0,200,"utf-8"). '...';
```



# アレンジのネタ

---

地域名＋空室検索の作成  
ホテルNo＋空室検索の作成

「商品が表示されてもリンク先が在庫切れだったらもったいないよね・・・」  
ヤフーショッピングの場合のリクエスト追加パラメータavailability=1  
→在庫があるもののみ表示する

「セール中商品のみをしたい」  
ヤフーショッピングの場合のリクエスト追加パラメータdiscount=1  
→セール中のもののみ表示する

「楽天市場や楽天トラベルで検索させるブログパーツ作成」  
→楽天のサイト(楽天Webサービス)で調べてやる  
<http://webservice.rakuten.co.jp/>

